

## II. 戦時のくらし

昭和17年(1942)6月のミッドウェイ海戦での敗北以降、戦況が悪化し、アメリカ軍機空襲と本土上陸に備え、防空演習や防火訓練が行われるようになった。国民学校(小中学校)でも軍事訓練や竹槍訓練が行われ、兵員を補うため、臨時召集令状(赤紙)により民間人が戦地へ送られた。

街中では出征兵士の見送りや弾丸除けお守りの千人針縫が行われた。また、兵器製造のため、寺の釣鐘や仏具、鉄瓶など日常使う金属品までが供出された。



梵鐘供出(昭和17年)

戦時機や弾丸等の製造で不足する金属を補うため、寺院の釣鐘や家庭の仏具等あらゆる金属類が戦時供出された。【長寿寺(葉上町水原)】



鎭宅神社(白田)参拝



奉安殿

戦前、すべての学校にあり、天皇・皇后の御真影(写真)と御守が納められ、教員と生徒は朝敬礼をして拝んだ。戦後大半が撤去解体されたが、葉上町では西八田、安武、本庄、推田小学校の4か所で残存する。【写真は西八田の正八幡神社に移設された旧八津田小学校の奉安殿】



推田小学校の奉安庫

外装が銅製風漆塗で金箔式三重扉を付けた御守御火構造の御守庫である。内扉と内扉は軸組板張りで、この中に皇朝御影を入れた扉と天皇・皇后の御真影(写真)を納めた。外扉の内側に「奉安庫 社務所蔵 昭和17年製」と銘記の文字が施され、昭和3年、御真影奉安殿を推田町推田小学校に納められたことが記される。当初は講堂に設置されたといわれ、現在も残っている。(新分類)

御名	御姓	御名	御姓
山田 隆一	山田 隆一	山田 隆一	山田 隆一
山田 隆二	山田 隆二	山田 隆二	山田 隆二
山田 隆三	山田 隆三	山田 隆三	山田 隆三
山田 隆四	山田 隆四	山田 隆四	山田 隆四
山田 隆五	山田 隆五	山田 隆五	山田 隆五
山田 隆六	山田 隆六	山田 隆六	山田 隆六
山田 隆七	山田 隆七	山田 隆七	山田 隆七
山田 隆八	山田 隆八	山田 隆八	山田 隆八
山田 隆九	山田 隆九	山田 隆九	山田 隆九
山田 隆十	山田 隆十	山田 隆十	山田 隆十
山田 隆十一	山田 隆十一	山田 隆十一	山田 隆十一
山田 隆十二	山田 隆十二	山田 隆十二	山田 隆十二
山田 隆十三	山田 隆十三	山田 隆十三	山田 隆十三
山田 隆十四	山田 隆十四	山田 隆十四	山田 隆十四
山田 隆十五	山田 隆十五	山田 隆十五	山田 隆十五
山田 隆十六	山田 隆十六	山田 隆十六	山田 隆十六
山田 隆十七	山田 隆十七	山田 隆十七	山田 隆十七
山田 隆十八	山田 隆十八	山田 隆十八	山田 隆十八
山田 隆十九	山田 隆十九	山田 隆十九	山田 隆十九
山田 隆二十	山田 隆二十	山田 隆二十	山田 隆二十

教育勅語

明治23年(1890)、明治天皇が近代日本教育の基本方針として発した勅諭。戦後、軍国教育の象徴とされ、昭和23年(1948)の国定で失効確認された。



国防婦人会肩掛け鞆



毎日年鑑



戦時国庫債券と貯蓄債券



陶器製湯たんぽ

湯たんぽは戦時中に陶器製で作られた。昭和17年以降、陶器製湯たんぽが兵器製造に転用された。戦時中、陶器製湯たんぽは兵器製造に転用された。戦時中、陶器製湯たんぽは兵器製造に転用された。



戦時中のカルタ



戦時中のメンコ



戦時中教科書



推田国民学校表札



教育勅諭(沈黙の勅諭)